

# 8 大津市の環境施策推進状況

## 大津市環境基本計画における基本施策の推進状況

番号	基本施策	指標の内容	指標把握の考え方	計画策定時の実績	平成18年度	平成19年度	平成20年度
1	多様な自然環境の体系的な保全	植生の相対自然度	環境省実施の「自然環境保全基礎調査」等をもとにメッシュごとの相対自然度を算出し、自然度ごとのメッシュ数および相対自然度平均値を把握する	(H7) 相対自然度10.9:3メッシュ/8, 7, 6:240メッシュ/5, 4:64メッシュ/3, 2:71メッシュ、 相対自然度メッシュ平均値: 5.70 (S49) 相対自然度メッシュ平均値:6.78	調査していない  (参考:土地利用現況把握調査) 農用地:6.7% 森林:67.6% 宅地・道路:14.3%	調査していない	(H20・新大津市) 相対自然度10.9:15メッシュ/8, 7, 6:282メッシュ/5, 4:80メッシュ/3, 2, 1:76メッシュ、 相対自然度メッシュ平均値: 5.83
1	多様な自然環境の体系的な保全	緑被率	環境省実施の「自然環境保全基礎調査」等をもとに市全域緑被率および市街化区域緑比率を把握する	(H7) 大津市全域緑被率:約78% 市街化区域緑被率:約30%	調査していない  (参考:土地利用現況把握調査) 森林・農用地:74.3%	調査していない	(H20・新大津市) 大津市全域緑被率:82.3% 市街化区域緑被率:33.4%
2	生物の多様性の確保	身近な生き物生息状況	インターネットによる情報収集の実施有無を把握する	(H10) ホタル、ヨシユスリカ、赤とんぼ、水辺の鳥、タンポポ、ツバメ、魚、サクラ、身近な鳥、セミ	●身近な生き物 14項目・その他1項目(累計) ●Web版「かんきょう宝箱」により身近な生き物生息状況を含めた環境情報を収集・提供	●身近な生き物 14項目・その他1項目(累計) ●Web版「かんきょう宝箱」により身近な生き物生息状況を含めた環境情報を収集・提供	●身近な生き物 14項目・その他1項目(累計) ●Web版「かんきょう宝箱」により身近な生き物生息状況を含めた環境情報を収集・提供
2	生物の多様性の確保	希少動植物の生息状況	「滋賀県で大切にすべき野生生物」または、別途調査結果をもとに、希少種動植物数を把握する	(H7)植物 45種 (H8)哺乳類10種、 両生類6種、昆虫類46種	調査していない	調査していない	自然環境植生調査で確認された貴重植物 17種
3	ビオトープの保全と創造	ビオトープ整備数	関係課が実施するビオトープの再生または整備の累積数を把握する (ビオトープの定義は基本計画P41の図とする)	(H10) [河川等]-堅田湖内、横田川、 毛文川 [公園]遊歩公園、月輪大池、 一里山公園 [ため池]平野古池 [学校]達坂小学校 【計8箇所】	【学校】 真野中学校  【計21箇所】 ・・・当年度整備:1箇所	【計21箇所】 (伊香立公園内の自然生体園は整備中)	【計21箇所】 (伊香立公園内の自然生体園は整備完了(ただし、大津市への引き渡しは平成21年度中の予定))
4	自然とのふれあいの推進	自然とふれあう活動参加者数	関係課実施の自然観察会の開催数、参加延べ人数を把握する	(H9)2回80人(H10)1回43人	2回 76人	2回 67人(水鳥観察会は荒天のため中止)	2回 53人(秋の観察会は中止)
4	自然とのふれあいの推進	市民農園等の数と面積	市民農園の箇所数、面積、区画数を把握する	(H10) 滋賀里他10箇所 14,032㎡, 439区画	滋賀里他9箇所 12,301㎡, 394区画	滋賀里他9箇所 14,786㎡, 444区画	滋賀里他7箇所 11,710㎡, 403区画
5	環境に配慮した土地利用の推進	用途別土地利用の面積	土地利用現況把握調査(国土法に基づく全国調査)に基づく調査結果に基づき、「農用地・森林・水面・道路・宅地・その他」の区分ごとの割合を把握する ※	(H8) 農地 2,146ha 森林 20,403ha 原野 14ha 水面 772ha 宅地 2,849ha 道路 1,252ha その他 2,793ha	農用地:6.7% 森林:67.6% 水面:2.2% 道路:4.9% 宅地:9.5% 他:9.1%	調査していない。	調査していない。
6	ごみ減量の推進	ごみ減量・リサイクル	市民が行うごみ減量・リサイクル量(集団資源回収量(新聞・雑誌・ダンボール)＋牛乳パック回収量)および市が行うごみ減量・リサイクル量(資源物として市民が分別した廃棄物(かんびん・ペットボトル・その他プラスチック・大型ごみ)の市の受け入れ・選別後の資源化量＋刈草剪定枝搬入量)の年間値を把握する	(H10) 市民リサイクル量 11,354t 市リサイクル量 3,688t 計 15,042t	市民リサイクル量 13,642t 市リサイクル量 5,376t 計 19,018t	市民リサイクル量 14,075t 市リサイクル量 6,139t 計 20,214t	市民リサイクル量 13,540t 市リサイクル量 5,601t 計 19,141t
6	ごみ減量の推進	1人1日あたりごみ排出量及び処分量	市施設に搬入されたごみ排出量(事業系を含む)および埋立処分量の1人1日あたりの値を把握する	(H10) 1人1日あたりのごみ排出量 1,084g/人・日 1人1日あたりの処分量 1,049g/人・日	1人1日あたりのごみ排出量 1,095g/人・日 1人1日あたりの処分量 949g/人・日	1人1日あたりのごみ排出量 1,066g/人・日 1人1日あたりの処分量 899g/人・日	1人1日あたりのごみ排出量 981g/人・日 1人1日あたりの処分量 824g/人・日
7	省資源・省エネルギーの推進	エネルギー消費量	大津市統計年鑑等から用途別エネルギー使用量(電気・ガス・ガソリン)の年間値を把握する	(H11) 年間エネルギー消費量 12,869×10 <sup>6</sup> (MJ)		年間エネルギー消費量 16,289×10 <sup>6</sup> (MJ)	集計中
8	環境への負荷の少ない都市基盤づくりの推進	自転車駐車場駐車可能台数及び利用実績	市整備(道路管理課)の有料・無料の自転車駐車場の利用可能台数、並びに有料の自転車駐車場の年間利用実績を把握する	(H10) 自転車駐車可能台数12,680台 (自転車0,413台、バイク2,985台、一時預かり1,282台) 年間利用台数1,929千台	自転車駐車可能台数13,478台 (自転車9,079台、バイク3,088台、一時預かり1,311台) 年間利用台数3,772千台	自転車駐車可能台数15,518台 (自転車11,154台、バイク3,045台、一時預かり1,319台) 年間利用台数3,787千台	自転車駐車可能台数15,103台 (自転車10,898台、バイク2,917台、一時預かり1,288台) 年間利用台数3,714千台
8	環境への負荷の少ない都市基盤づくりの推進	公共交通機関利用者数	JR全駅・京阪一部駅(坂本・近江神宮前・浜大津・京阪膳所・京阪石山・石山寺)の年間乗車人数を把握する	(H10) JR 37,106千人 京阪電車(坂本・近江神宮前・浜大津・京阪膳所・京阪石山・石山寺) 6,004,739人	JR 41,468千人 京阪電車(坂本・近江神宮前・浜大津・京阪膳所・京阪石山・石山寺) 4,832,965人	JR 42,438千人 京阪電車(坂本・近江神宮前・浜大津・京阪膳所・京阪石山・石山寺) 4,929,625人	JR 集計中 京阪電車 集計中

番号	基本施策	指標の内容	指標把握の考え方	計画策定時の実績	平成18年度	平成19年度	平成20年度
8	環境への負荷の少ない都市基盤づくりの推進	都市計画道路整備率	計画決定をしている道路延長に対する概整備済み及び整備済み道路延長の割合を把握する	(H9.3) 約40%	(H19.3) 45.22%	(H20.3) 45.54%	(H21.3) 44.02%
9	水循環の保全と創造	森林面積	土地利用現況把握調査(国土法に基づく全国調査)に基づく調査結果より森林面積を把握する ※	(H8) 森林面積 20,403ha(68.36%) (H11) 森林面積 20,630ha(68.23%)	森林 67.6%	調査していない。	調査していない。
9	水循環の保全と創造	1人1日あたり水道使用量	年間の家庭用給水量および給水人口から1人1日あたり水道使用量を把握する	(H10) 1人1日あたり水道使用量 279リットル/人・日	1人1日あたり水道使用量 262リットル/人・日	1人1日あたり水道使用量 261リットル/人・日	1人1日あたり水道使用量 258リットル/人・日
10	地球温暖化の防止	二酸化炭素排出量	環境省ガイドラインに従い、市域の年間CO <sub>2</sub> 全排出量および一人あたりの排出量を把握する	(H7) 大津市全体二酸化炭素排出量 1,569千トン-CO <sub>2</sub> 市民一人あたり5.63トン-CO <sub>2</sub>	調査していない	調査していない	調査していない
11	オゾン層の保護	フロン回収量(処理台数)	1年間にフロン回収・破壊を行った廃冷蔵庫および廃エアコンの台数を把握する	(H10) 廃冷蔵庫処理台数 2,562台 廃エアコン処理台数 356台	廃冷蔵庫処理台数 5台 廃エアコン処理台数 0台	廃冷蔵庫処理台数 0台 廃エアコン処理台数 0台	廃冷蔵庫処理台数 7台 廃エアコン処理台数 0台
12	その他地球環境問題の取り組み	窒素酸化物、硫黄酸化物総排出量	大気汚染物質排出量総合調査結果により、大気汚染防止法に基づく工場・事業場からのNO <sub>x</sub> 、SO <sub>x</sub> 排出量総量の年間値を把握する	(H8) NO <sub>x</sub> :608,540.4m <sup>3</sup> /年、 SO <sub>2</sub> :515,983.9m <sup>3</sup> /年	調査していない	調査していない	調査していない。
13	地球的なパートナーシップの推進	国際的情報交換等参加者数	市内で1年間に開催された国際会議、講演会、イベント等の開催数、参加者数を把握する	(H10.10) 「第7回世界地方都市十字路口会議」開催	該当なし	該当なし	該当なし
14	環境汚染の未然防止	公害苦情総件数	環境分野別の苦情の全件数および典型7公害件数を把握する	(H10) 典型7公害 97件 合計 185件	典型7公害 132件 合計 324件	典型7公害 120件 合計 232件	典型7公害 119件 合計 240件
14	環境汚染の未然防止	ISO14001認証取得事業者数	(財)日本適合性認定協会資料より、所在地が大津市の事業所件数を把握する	(H11.1) 大津市内7件	(H19.5末) 大津市内取得事業者数 累計63件 ※日本適合性認定協会HPより	(H20.5末) 大津市内取得事業者数 累計63件 ※日本適合性認定協会HPより	(H21.4末) 大津市内取得事業者数 累計61件 ※日本適合性認定協会HPより
15	大気環境の保全	大気汚染物質濃度	大気環境常時監視調査結果より、調査項目別の測定局数および環境基準不適合局数を把握する	(H10) 環境基準不適合局数: 光化学オキシダント-6局、浮遊粒子状物質-2局	測定局数: 窒素酸化物5、浮遊粒子状物質5、オキシダント4、一酸化炭素2 環境基準不適合局数: オキシダント4	測定局数: 窒素酸化物5、浮遊粒子状物質5、オキシダント4、一酸化炭素2 環境基準不適合局数: オキシダント4	測定局数: 窒素酸化物6、浮遊粒子状物質6、オキシダント4、一酸化炭素3 環境基準不適合局数: オキシダント4
15	大気環境の保全	ベンゼン等有害大気汚染物質濃度	有害大気汚染物質調査結果より、調査項目別の環境基準不適合有無を把握する	(H10) 環境基準不適合項目数: 0	環境基準不適合項目数: 0	環境基準不適合項目数: 0	環境基準不適合項目数: 0
15	大気環境の保全	悪臭苦情件数	悪臭苦情の件数を把握する	(H10) 23件	18件	18件	24件
16	水環境の保全	水質汚濁物質濃度	公共用水域水質調査結果より、BODの調査地点数および環境基準不適合地点数を把握する	(H10) 河川環境(上の)基準BOD未達成地点数: 4地点	河川環境(上の)基準BOD未達成地点数: 4地点	河川環境(上の)基準BOD未達成地点数: 6地点	河川環境(上の)基準BOD未達成地点数: 2地点
16	水環境の保全	地下水水質汚濁物質濃度	地下水概況調査結果より、調査地点数および環境基準不適合項目があった地点数を把握する	(H10) 概況調査環境基準超過地点数: 0	概況調査環境基準超過地点数: 0	概況調査環境基準超過地点数: 0	概況調査環境基準超過地点数: 0
16	水環境の保全	生活排水処理施設整備率	年度末の処理形態生活排水処理状況をもとに市域の生活排水処理施設整備率を把握する	(H2) 75.6%	95.61%	95.93%	96.12%

番号	基本施策	指標の内容	指標把握の考え方	計画策定時の実績	平成18年度	平成19年度	平成20年度
17	音環境の保全	環境騒音	環境騒音調査(一般地域)結果より、調査地点数および時間帯別の環境基準不適合地点数を把握する	(H7) 道路に面しない地域: 92地点/97地点達成 (H6) 道路に面しない地域:昼間30%、 夜間5%が基準満足、 後背地で昼間80%、夜間35%が 基準満足	道路に面しない地域 昼間91%、 夜間91%が 基準満足	道路に面しない地域 昼間100%、 夜間88%が 基準満足	道路に面しない地域 昼間100%、 夜間100%が 基準満足
17	音環境の保全	騒音苦情件数	騒音苦情の件数を把握する	(H10) 総数182件中、騒音18件	総数324件中、騒音36件	総数232件中、騒音27件	総数240件中、騒音26件
18	土壌環境の保全	土壌汚染発生件数	土壌汚染対策法に係る指定基準を超過した件数を把握する	(H10) 0件	0件	0件	0件
19	廃棄物の適正処理の推進	不法投棄廃棄物処理量	不法投棄された家電4品目の回収台数及び処理総重量年間値を把握する	(把握していない)	家電4品目 452台 (エアコン20・冷蔵庫104・洗濯機64・テレビ264) 20,376kg	家電4品目 573台 (エアコン14・冷蔵庫115・洗濯機100・テレビ344) 25,118kg	家電4品目 233台 (エアコン11・冷蔵庫50・洗濯機24・テレビ148) 10,528kg
19	廃棄物の適正処理の推進	不法投棄等苦情件数	ごみコールセンターで受け付けた不法投棄報告数を把握する	(H10) 不法投棄監視員報告件数: 100件	ごみコールセンター受付不法投棄報告数: 905件	ごみコールセンター受付不法投棄報告数: 1,218件	ごみコールセンター受付不法投棄報告数: 988件
20	その他の生活環境の保全	その他の生活環境苦情件数	典型7公害以外の公害苦情件数(空地の適正管理とそれ以外別)を把握する	(H10) 典型7公害以外 5件、 空き地(雑草等)83件	典型7公害以外 5件、 空き地(雑草等) 187件	典型7公害以外 8件、 空き地(雑草等) 104件	典型7公害以外 7件、 空き地(雑草等) 114件
21	環境リスクの低減	環境汚染物質排出・移動量	PRTR公表データから、大津市内の届出事業数、排出総量、移動総量の年間値を把握する	(現在のところ把握していない)	排出・移動量 届出数:78 排出量:109,784kg 移動量:1,146,165kg 合計:1,255,949kg	排出・移動量 届出数:84 排出量:103,534kg 移動量:1,033,210kg 合計:1,136,744kg	集計中
22	安全性の高い土地利用の推進	危険箇所における用途別土地利用面積	県防災計画より、地すべりの危険箇所面積および雪崩危険箇所等の面積を把握する	●(H9) 地すべりの危険箇所: 716.85ha 雪崩危険箇所等の面積: 271.83ha (県防災計画による)	地すべりの危険箇所: 956.57ha 雪崩危険箇所等の面積: 371.56ha (県防災計画による)	地すべりの危険箇所: 956.574ha 雪崩危険箇所等の面積: 371.56ha (県防災計画による)	地すべりの危険箇所: 956.574ha 雪崩危険箇所等の面積: 371.56ha (県防災計画による)
23	歴史文化の保全と継承	有形・無形文化財等指定数	国・県・市指定の有形文化財数および無形文化財数を把握する	(H11.3) 世界遺産 1件 有形文化財 402件 無形文化財等 57件 合計460件	世界遺産 1件 有形文化財 437件 無形文化財等 62件 合計500件	世界遺産 1件 有形文化財 445件 無形文化財等 62件 合計508件	世界遺産 1件 有形文化財 445件 無形文化財等 61件 合計507件
24	水と緑のネットワーク	緑地面積	市街化区域内の地域制緑地確保(風致地区・自然公園・保安林・農振農用地・緑地協定・以前保護地区)を把握する	(H8) 概ね900ha	調査していない	調査していない	調査していない
24	水と緑のネットワーク	人1人あたりの都市公園等の面積	都市公園面積/人口より算出する	(H11.4) 7.9㎡/人	約9.84㎡/人	約9.77㎡/人	約9.71㎡/人
25	景観の形成	景観に関する市民意識	アンケート調査により把握する	(H6) 「古いまちなみ自然などの景観が変わっていない」について そう思う 13.1% ややそう思う 28.9% あまりそう思わない 34.2% そう思わない 20.3%	調査していない	調査していない	調査していない
26	美化の推進	美化活動によるごみ処分量	琵琶湖一斉清掃および定期的な自治会清掃に係るごみの市回収量年間値を把握する	(現在のところ把握していない)	把握できている搬入量 (琵琶湖一斉清掃 635t 年間定期的な自治会清掃 236t)	把握できている搬入量 (琵琶湖一斉清掃 667t 年間定期的な自治会清掃 210t)	把握できている搬入量 (琵琶湖一斉清掃 537t 年間定期的な自治会清掃 207t)
26	美化の推進	美観に関する市民意識	アンケート調査により把握する	(H6) 「あき缶などのごみがなく、きれいである」について そう思う10.5%、ややそう思う 31.9%、あまりそう思わない 36.2%、そう思わない17.8%	調査していない	調査していない	調査していない

番号	基本施策	指標の内容	指標把握の考え方	計画策定時の実績	平成18年度	平成19年度	平成20年度
27	光・音・風の活用	快い光、音、風等の資源数	『かんきょう宝箱』に掲載されている光、音、風に関する資源数を把握する	(H11.4) 14件	26件	26件	26件
28	市街地のオープンスペースの確保	市街地内オープンスペース率	都市計画基礎調査結果から(空間地計+水面+道路+鉄道数+公園・緑地)/市街化区域面積*100より算出する	(H2) 50.1% (H7) 45.4%	44.7%	調査していない	調査していない
29	環境文化の創造	地域文化学習開催数及び参加者数	各公民館が関与している環境学習の実施事業数および参加人数の合計を把握する	(現在のところ把握していない)	21事業、807人	30事業、867人	28事業、1,538人
30	子どもの遊び環境の確保	子どもの活動支援施設利用者数	葛川森林キャンプ場、葛川少年自然の家、児童館、水泳場、ふれあいのもり、自然観察の森、田上教育キャンプ場、桐生若人の広場、比良げんき村の年間利用者数について把握する	(現在のところ把握していない)	葛川森林キャンプ場 9,186人 葛川少年自然の家 23,733人 児童館 119,397人 真野水泳場 16,400人 ふれあいのもり 12,116人 田上教育キャンプ場 624人 桐生若人の広場 3,542人 比良げんき村 6,042人 合 計 191,040人	葛川森林キャンプ場 9,455人 葛川少年自然の家 25,552人 児童館 115,236人 真野水泳場 23,200人 ふれあいのもり 13,196人 田上教育キャンプ場 556人 桐生若人の広場 3,294人 比良げんき村 6,754人 合 計 197,243人	葛川森林キャンプ場 8,710人 葛川少年自然の家 27,352人 児童館 111,042人 真野水泳場 20,500人 ふれあいのもり 13,385人 田上市民運動広場 220人 桐生若人の広場 4,196人 比良げんき村 6,211人 合 計 191,616人
30	子どもの遊び環境の確保	児童遊園地の数及び面積	児童遊園地の総数及び総面積を把握する	(H10) 児童遊園地 402ヶ所 総面積 145,674㎡	児童遊園地 492ヶ所 総面積 168,376㎡	児童遊園地 505ヶ所 総面積169,441㎡	児童遊園地 511ヶ所 総面積163,680㎡
31	人と環境との関わりの育成	地域における環境保全活動参加者数	各公民館が関与している環境保全活動(清掃等)の実施事業数および参加人数の合計を把握する	(現在のところ把握していない)	17事業 6,505人	11事業 4,015人	11事業 5,088人
32	環境学習・教育の推進	環境学習開催数及び参加者数	庁内関係課実施の環境学習開催数及び延べ参加者数を把握する	「おおつ環境塾」塾生100名 「おおつ歩き隊」塾生209名	「環境サポーター研修会」 1回 26名 庁内環境教育事業数 296	「環境サポーター研修会」 1回 33名 庁内環境教育事業数 383	「環境サポーター研修会」 1回 16名 庁内環境教育事業数 762
33	環境情報の整備と提供	環境資源情報数	『かんきょう宝箱』への登録情報総数を把握する	(H9) 約3,000件	総数 2,614件	総数 2,614件	総数 2,758件
33	環境情報の整備と提供	「大津かんきょう宝箱」アクセス数	「大津かんきょう宝箱」への年間アクセス件数を把握する	(H9) インターネット「大津かんきょう宝箱」へのアクセス数: 約3,500件/年	インターネット「大津かんきょう宝箱」へのアクセス数: 160,588件/年	インターネット「大津かんきょう宝箱」へのアクセス数: 244,980件/年	インターネット「大津かんきょう宝箱」へのアクセス数: 308,516件/年
34	環境保全活動の推進	環境保全活動団体数及び会員数	市民活動センターに登録されている団体のうち活動分野が「環境の保全」の数を把握する おおつ環境フォーラム会員数を把握する ※	(現在のところ把握していない)	市民活動センター登録団体のうち活動分野が「環境保全」:24団体 おおつ環境フォーラム: 会員数273人・団体	市民活動センター登録団体のうち活動分野が「環境保全」:32団体 おおつ環境フォーラム: 会員数257人・団体	市民活動センター登録団体のうち活動分野が「環境保全」:36団体 おおつ環境フォーラム: 会員数252人・団体(平成21.3末)
34	環境保全活動の推進	環境学習サポーター登録者数	環境学習サポーター制度登録者総数を把握する	(現在のところ把握していない)	73名	65名	60名、4団体
35	環境保全型行政の創造	市が消費する資源・エネルギーの量	公用車に係る燃料使用量(ガソリン及び軽油)、電気使用量、上水使用量、ガス使用量、用紙購入量それぞれの年間値を把握する	(H9) 公用車から排出されるCO <sub>2</sub> 排出量: 291,297kgC 電気使用量:56,926,942kWh 上水使用量:1,110,257m <sup>3</sup> ガス使用量:1,081,511m <sup>3</sup> 用紙類購入量:33,868,000枚 文房具類購入量:37,959,786円	公用車にかかる燃料使用量(ガソリン+軽油) 378,386L 電気使用量 88,760,399kWh、 上水使用量 1,245,851m <sup>3</sup> 、 ガス使用量 3,200,716m <sup>3</sup> 、 用紙購入量 41,820,603枚	公用車にかかる燃料使用量(ガソリン+軽油) 363,019L 電気使用量 87,865,419kWh、 上水使用量 1,274,099m <sup>3</sup> 、 ガス使用量 3,354,318m <sup>3</sup> 、 用紙購入量 40,924,523枚	公用車にかかる燃料使用量(ガソリン+軽油) 351,505L 電気使用量 86,547,212kWh、 上水使用量 1,184,622m <sup>3</sup> 、 ガス使用量 3,349,109m <sup>3</sup> 、 用紙購入量 40,616,405枚
35	環境保全型行政の創造	市のごみ排出量	市本庁舎から排出する燃やせるごみの総量の年間値を把握する	(H9) ごみ量:165t	41t	38t	39t
35	環境保全型行政の創造	市の環境配慮物品購入率	文房具類・紙類の環境にやさしい物品単価契約率を把握する	(H10) 文房具類:36.8%、 紙類:22.0%	文房具類:90.2%、 紙類:95.0%	文房具類:91.3%、 紙類:95.0%	文房具類:88.7%、 紙類:100.0%